

20年に一度

春日若宮お砂持ち

令和4年10月1日（土）～10月10日（月祝）

およそ900年間途切れることなく続く「大和一国を挙げての大祭 春日若宮おん祭」で知られ、「大和国の総鎮守」とも称される春日大社の摂社・若宮が20年に一度の式年造替を迎え、令和4年10月28日に本殿遷座祭（正遷宮）が執り行われ、美しくなった御本殿に若宮様がお還りになります。

若宮様の御本殿修繕工事は、本年9月末日をもって完了する予定となっており、その総仕上げとして、崇敬者の皆様の手で若宮内院に白砂をお納めいただく「お砂持ち」行事を実施いたします。

20年に一度の御修繕を終え、朱塗りも鮮やかに美しく壮麗な御殿を間近に拝観できるだけでなく、若宮御創建より一千年の時を超え、連綿と受け継がれてきた御造替事業に、崇敬者の皆様ご自身の参加が叶う行事です。

次に若宮内院に参入いただける機会は少なくとも20年先となりますので、この機会に是非とも「春日若宮お砂持ち」にご参加されますことをご案内申し上げます。

なお、台風等の天候不順の影響による工期の延長など、工事の進捗状況により中止となる場合がございますのでご了承ください。



春日大社大宮（御本社）のお砂持ちの様子（平成28年）



特別記念品として、おん祭をあしらったお砂袋が授与されます。

- ◆特別公開期間 / 令和4年10月1日（日）～10月10日（月祝）
- ◆実施時刻 / 10時、11時、13時、14時より（所要時間約30分）
- ◆受付場所 / 着到殿前特設テント（二之鳥居をくぐって東へ100m）
- ◆初穂料 / 若宮御造替奉賛金として、お1人2,000円お納めいただきます。（特別記念品付）
- ◆受付・案内方法 / 神職・職員がご案内します。
 - ・予約制ではありません。
 - ・雨天決行

※マスクの着用、手指の消毒、お互いの距離を取る、大きな声を出さない等の感染症対策にご協力ください。
体調がすぐれない場合はご参加いただけません。

次のページもご覧ください

新たなる御神気 若宮御造替 ～八日間初まいり～

令和4年10月30日（日）～11月6日（日）

御造替で美しく蘇った若宮御本殿への初まいりとして、これまで閉ざされていた若宮様の正面へと続く神楽殿の石段を初めて公開し、拝舎までお昇りいただく特別なご参拝です。この期間に御力の蘇った若宮様の強い御加護をお受け下さい。



- ◆開催日 ／令和4年10月30日（日）～11月6日（日）
- ◆開催時間 ／9時～16時
 （10月30日～11月1日および3日は神事都合のため午後より）
- ◆初穂料 ／無料
 ※予約制ではございません。ご参拝の方々ご自身でお参りいただきます。

次のページもご覧ください

若宮正遷宮

奉祝万燈籠

令和4年11月5日、12日、19日、26日（11月の毎週土曜日）

若宮様の正遷宮を祝う奉祝万燈籠を、11月毎週土曜の夜に実施いたします。

若宮様の正遷宮を、そして平成19年の一之鳥居御修繕から15年にわたって執り行われました第六十次式年造替の完遂を、春日大社にお心をお寄せいただき皆様とともにお祝い申しあげる行事として、奉祝万燈籠の特別参拝の初穂料は無料といたします。

境内に合わせて三千基ある石燈籠と釣燈籠に浄火が灯され、闇夜に鮮やかな朱塗りの御殿が浮かび上がる御修繕されたばかりの若宮社をお参りいただき、若宮と大宮（春日大社御本社）を繋ぐ「御間道」を経て、大宮の回廊内に参入しご参拝いただけます。



撮影：松井良浩

◆開催日 / 令和4年11月5日、12日、19日、26日（11月の毎週土曜日）

◆開催時間 / 17時30分～20時

◆初穂料 / 点灯時間に限り大宮特別参拝を無料開放

※予約制ではございません。ご参拝の方々ご自身でお参りいただきます。



撮影：松井良浩